

令和4年12月20日(火)

『Ⅲ 美術館へおでかけ (開催中のコレクション展を観覧)』



いよいよ3回目は、高松市美術館へコレクション展3の鑑賞に行きました。

1回目の講座でレクチャーを受けた作品とご対面です。

実物と画像では、当たり前ですが、作品の大きさ、質感など全く違います。

また、解説を聞いていたからこそ気づくことがたくさんありました。

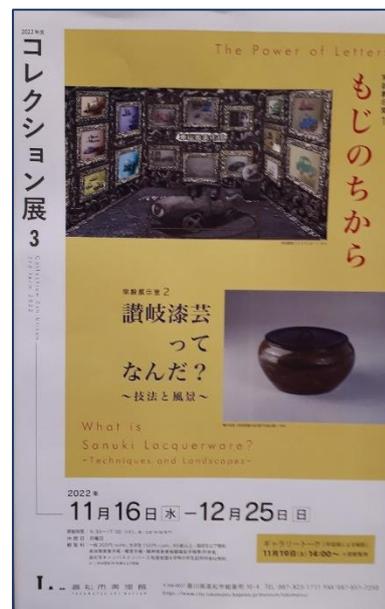
展示室1に展示している「恋する美術だ。」(イチハラヒロコ作)について、一人ずつ感じたこと、心に浮かんだことを発表しました。この作品は、愛と笑いをテーマに文字で表現したシルクスクリーンの作品です。

この作品を見て、

- 自分が美術に興味を持つきっかけになった子供のころの思い出。
- 親を亡くした時の気持ち。
- 遠くの未来ではなく、今ここにある幸せを見つけたいと感じた。

など、様々なお話があり、とても興味深い時間でした。

展示室2では、香川の宝である漆芸作品を手法とともに鑑賞しました。一つ一つの作品の中に、数えきれないほどの技が隠されていることを考えながら鑑賞すると、作品の重みがより一層伝わってきます。



最後に、今回の講座に参加した方から次のような感想をいただきました。

- 作品鑑賞もいろんな見方があって奥が深い。
- じっくり説明付きで見学できた。
- おもしろかった。バッグが作れて良かった。
- 収蔵品が鑑賞できて良かった。説明がとても良かった。
- 実物もあり、解説もしていただいて、とてもよく分かりました。

また、講座中の質問コーナーでは、

- 高松市美術館の教育普及の取り組み（出前講座など）
- こどもプラスの活動について
- 年4回のコレクション展のテーマの決め方、取り組みについて
- 美術館職員の知られざる仕事について

など、普段あまり知られていない活動についても教えていただきました。

今回高松市美術館に初めて来たという方もいらっしゃいましたが、この講座が、高松市美術館の現代アート作品や香川の漆芸作品に興味を持ち、美術館に足を運ぶきっかけになることを願っています。

坂東 美穂さん、川染 奈緒さん、わかりやすく、楽しい講座をありがとうございました。

